**７時間で理解するコンピュータ自作実習**

５時限目　―BIOSの設定とLinuxのインストール―

**○これまでの確認問題（ハードウェア分野）　　　　　　【1問１点　　　　　　/１０】**

１　CPUは中央処理装置と呼ばれ、（　クロック周波数　）【単位はHz】とCPU内部の（　コア　）数によってそのおおよその処理能力が決まる。

２　メインメモリはプログラムやデータを記憶しておくものであり、電源を切るとメインメモリ内のデータは（　失われる　）。また、コンピュータ稼働中はメインメモリ内の記憶を保持するために定期的に（　リフレッシュ　）を行う必要がある。

３　マザーボードはパソコンの中心となる基盤のことで、パソコンの最大性能や（　拡張性　）

に影響を与える。

４　HDDのデータ転送（ケーブル）の規格は、従来は（　IDE　）と呼ばれるものが一般的であったが、現在は（　SATA　）という規格にほぼ統一されている。（互換性はない）

５　光学ドライブの読み書きの速度は、「8x4x32x」のような表記が多く、左から書き込み速度、

（　書き換え　）速度、読み込み速度を表し、単位は（　倍速　）で表現される。

**○BIOSに関して押さえておきたい５つのこと**

１　BIOSは（　Basic Input Output System　）の略である

２　BIOSは（　ファームウェア　）の一つで、コンピュータに搭載されたプログラムのうち、

（　ハードウェア　）との最も低いレベルの入出力を行うためのプログラムである。

３　BIOSの起動方法はマザーボード製造メーカーによって違いがあるが、パソコンの電源投入後（　F2　）キーもしくは（　Delete　）キーを押すことで行える。

４　よく使用するBIOSの設定として、（　ファーストブートデバイス　）を変更することが挙げられる。例えば、OSのインストール時には上記設定を（　CDドライブ　）に変更し、インストール完了後は（　HDD　）に変更する。

５　パソコンのトラブル時にBIOSを初期状態に戻す事で解決することもある。これはリセットスイッチや電池を外すことで行えるが、この行為を（　CMOSクリア　）と呼ぶ。

**○Linuxに関して押さえておきたい５つのこと**

１　Linuxは1991年にフィンランドのヘルシンキ大学の大学院生（当時）Linus Torvalds氏によって開発された、（　UNIX　）互換のOSである。

２　Linuxは（　OSS　）として公開され、全世界のボランティア開発者によって改良が重ねられた。

３　Linuxは他のOSに比べ、低い性能のコンピュータでも軽快に動作する。また（　ネットワーク　）機能や（　セキュリティ　）面に優れ、非常に（　安定　）しているという特長をもつ。

４　LinuxのOSの核となる部分を（　カーネル　）という。

５　上記にある（　カーネル　）と必要なソフトウェアをまとめた配布パッケージのことを

（　ディストリビューション　）という。今回は（　CentOS　）を使用する。